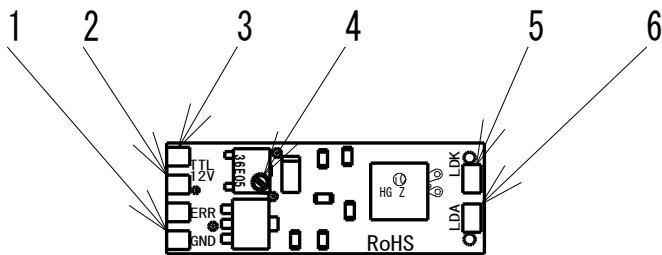


ACCドライバ OS-HGT/T3

性能

- ・ CW～2 KHz 対応
- ・ 外部制御 TTL正論理
- ・ 出荷時設定最大駆動電流300mA
- ・ 任意の駆動電流の設定可能
- ・ 立ち上がり時間100μs
- ・ 立ち下がり時間200μs以下
- ・ 最大出力電圧12V
- ・ 異常温度加熱には自動的にシャットダウン
- ・ ブルーレーザにも対応
- ・ 動作温度0～+50℃
- ・ 保存温度0～+90℃



外形寸法：9.8×28×7mm

各部の名称と機能

- ① パワーサプライ電極：電源DC0V供給電線を接続する。
- ② パワーサプライ電極：電源DC+5～12V供給電線を接続する。
- ③ TTL信号入力電極：外部制御信号入力電線を接続する。TTL-HIでON。
- ④ ポテンションメータ：出力電流（LD出力）値を設定する。時計方向に回すと出力が増加する。LD出力絶対最大定格の85%以下での使用が望ましい。
- ⑤ 電流出力GND電極：LDカソード電極を接続する。
- ⑥ 電流出力+電極：LDアノード電極を接続する。

注記

パワーサプライは通常DC5Vで正常に動作するものの青紫～緑色など、LD駆動電圧が比較的高い場合はDC+9～12Vを必要とする。（その際はTTL～5Vを入力する必要があり、TTL部を短絡しては使えない。）

背面の空ランドはLDの余ったピンの固定に使用できます。

以上